

令和2年度ブロック化による学校支援事業（「校長経営戦略支援予算」の
基本配付減額に係る影響緩和配付分）配付申請書(校園コード **641391**)

※校園コードを入力

学校名 **田川小学校**

※自動入力

1 学校情報(令和2年5月時点)

(1) 児童生徒数及び学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級数	2	2	2	2	2	2	4	16
児童生徒数	45	64	42	46	66	65	19	347
	1	4	3	3	4	4		

※特別支援学級在籍児童生徒数は外数で、それぞれの学年の下段に入力

(2) 学びサポーター配置時間数

	令和2年度	→	@1,500
時間数			0円

⑤ 残額

2 学校支援額

108,000 円

※裏面の総計と一致

108,000 円

※申請上限額

3 自校の学習における現状と課題

学力経年調査の平均正答率は、国語、算数ともに、市の平均を下回った。国語の領域では「読むこと」と「書くこと」が大阪市の平均に近かった。基礎・基本である「言語事項」がかなり弱く、漢字の問題もまだ弱かった。

4 現時点での取組み

漢字学習に取り組み、漢字検定の受験に向けての学習を通して、基礎学力の定着をめざす。

5 今後特に必要とする支援内容(3つまで回答可) ※その他を選択した場合は内容を記入してください。

☐ 児童生徒に対する個別支援☐ 放課後学習支援☒ 家庭学習支援☐ 読解力育成に向けた支援☒ 基礎的な知識・技能の習得に向けての支援☐ カリキュラムマネジメントの取組への支援☐ その他☐ 教員の指導力向上への支援

(

)

チェック個数 **2**

6 取組みにより期待される効果

漢字学習に取り組み、漢字検定の受験に向けての学習を通して、基礎学力の定着をめざす。

上記の達成状況(取組完了時)

漢字検定の合格率が85.5%となり、目標を達成できた。児童の学習意欲の向上と基礎学力の定着が見

達成

B

【裏面に続く⇒】

学校名

田川小学校

7 取組内容・費目内訳(学びサポの活用については支援額から除算)

(1)取組内容	家庭学習支援	※プルダウンから選択	事務局使用欄
臨時休業期間による学習の遅れを補うべく家庭学習用ドリルを購入し配布する。			
支援額	費目内訳 10-1 漢字ドリルの購入 740円×146人=108040円 <div style="float: right;">値引き 40円</div>		
108,000円			
取組みの効果(取組完了時) 臨時休業期間による学習の遅れを補うべく、家庭学習用漢字ドリルを配布し、家庭学習支援に活かした。漢字検定という具体的な目標があり、学習意欲をもって取り組むことができた。			

(1) 取組内容		※プルダウンから選択	事務局使用欄
支援額	費目内訳		
取組みの効果(取組完了時)			

(2) 取組内容		※プルダウンから選択	事務局使用欄
支援額	費目内訳		
取組みの効果(取組完了時)			

(3) 取組内容	※プルダウンから選択	事務局使用欄
支援額	費目内訳	
取組みの効果(取組完了時)		